十五日夕刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人 印刷人 岡田弘成
印刷所 福島縣石城郡平町紺屋町十四 加納活版所
發行所 福島縣石城郡平町紺屋町十五 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五拾錢
▲日刊(日曜、祭日)休刊

本年は何としても斷水は免れまい

水道使用量增加す 平水道部で注意書配布

平町の水道使用量は暑氣加はる毎に増しつゝあり、現在では好間村貯水池の水量は僅かに九萬立方尺となり、八幡小路配水池は平町現在の使用量では僅か半日分にしか當らぬ四萬八千立方尺を有するのみである、昨年六月一日から七月十日までの使用量と本年同期間内とを比較すると。

	使用量(立方尺)	一日平均	一日最大
昨年	三九三〇八六	九八二六五	一八七六四
本年	四三九五九二四	一〇九八六九八	一三七四四〇

即ち人口增加と共に使用水量が非常に増加してゐるが、一方給水方面に於ては水道擴張工事が出來ぬため、一時に多量を給水する事が困難で晴天の日全町の人々が洗濯でもすると二日分を使用する事になるので、忽ち斷水を免れない狀態となる。どうせ本年の酷暑期には斷水せざるを得ぬであらうと思はれるが、先づ平町水道部では町民に對し使用水量を節約するやう以上の如き事實を印刷にして全町民に配布し注意を促す事になつた。

巡回托鉢を行つて兒童保護資金募集

平善華會の試み

平町の宗教團體である平善華會では菩提院住職桐原英純師外數名が發起となり平町兒童保護資金募集の巡回托鉢を行ふ事になり平警察署、平町役場の諒解を得十六日、十七日の兩日行ふ事になつた、資金は主として欠食兒童の如き貧民の救助に充てるものであるが、巡回托鉢の順路左の如くである。

▲十六日午前八時長橋町性源寺前出發研町—紺屋町—一丁目—二丁目—三丁目—四丁目五丁目—六丁目—七丁目—鎌田—月見町—新川町—大町—仲町—材木町

▲十七日古鍛冶町—土橋—搔揚小路—新田町—白銀町—大工町—南町—鍛冶町—堂の前

平税務署 兩税委員選擧

平税務署の營業收益所得兩税調査員選擧は來る九月初旬執行することになつたので早くも野心家の策動が行はれ、石城政民兩幹部會でもこれが對策を協議されて居るが、目下出馬の話題に上つてゐるのは純然たる實業家はほとんどなく、いづれも政黨員で、調査會を政黨によつて爭ふやうになれば徴税の公正を欠き由々しき問題が起るだらうと郡民から大いに憂慮されてゐる

第一部長に 關内正一氏

平町二丁目消防小頭關内正一氏は平消防組内の重要な地位にあるが、十四日附で第一部長に選任された。

縣藥劑士會に 明友派進出

縣下藥劑士會總會は十三日白河町公會堂に開催され役員改選の結果石城郡からは副會長鈴木堅助 評議員に山野邊東次郎、瀬谷善之助、宇佐美友次郎の各氏當選したが、之によつて見るに舊來の老役員は一蹴されたのと明友藥劑士會が非常な勢で進出した事が特筆に値する、尙ほ昭和六年度總會は平町に於て開催する事に決定した。

互に睨み合つてゐる不動澤と杉山炭礦

坑夫兇器で渡り合ふ

石城郡内郷村杉山炭礦坑夫湯川大助(四二)と同村不動澤炭礦坑夫中谷松之助(三九)の兩名は十三日午後十一時頃喧嘩をなし大助は出刃を持ち、松之助は刺身庖丁で渡り合ひ相方共左手その他に傷を負ひ平署に引致取調中であるが、原因は松之助が杉山炭礦々長薄葉富保氏に喧嘩を吹つかけたのが原因らしい、尙ほ右兩炭礦は過般の炭車つき落し事件前後からデリケートな關係にあつたものである。

▲本島炭礦休山

石城郡内郷村泉本島炭礦は十三日から一週間休山したが、從業員は男七名、女四名計僅十一名で問題にはならない、休山の理由は經營主が旅行するからであると。

▲大浦農倉共販

石城郡四倉町四倉驛前大浦村農業倉庫の共同販賣は今十五日行ふが總數百七十九俵であると。

▲在鄕將校會總會

石城在鄕將校會では二十日午前九時豊間村沼の内辨天に集合總會を開き、四家文吉氏の講演あり、後塩屋崎燈臺、豊間大敷網を視察する。

▲三阪組頭表彰

石城郡三阪消防組顧問佐藤愛敬氏は明治二十七年同村消防組頭創設以來今日に至る迄其の功勞顯著なので今回荒井平署長から表彰された。

眞夏の天候

今晩はむし暑い 平年よりも高い氣温

梅雨空も全く晴れて十四日は本年に入つてから初めて眞夏の氣温と天候に復した、小名濱測候所では正午の氣温は華氏八十二度八で、屋外では八十七度六を示し、平年より二三度高く、昨年も急に十三日頃から氣温上昇したが、本年は一日遲れて十四日急に暑くなつた、今晩は南西の風で蒸暑く、明日は照りが強く眞夏の天候を見せ入道雲も出るであらう、高氣壓は小笠原島に七百五十八が全島を蔽つて居り、支那に低氣壓があるが、全く影響がないといへばこの天候が續くであらうと語つた。

吳服詐欺の支那人捕はる

平町字南町佐藤吳服店で反物二十反價格三百圓、同町材木町北川吳服店で反物三十反價格三百圓、その他石城地方において昨年八月三十日から十月末にかけ吳服類詐欺を働き現金千六百圓をせしめ逃走した犯人支那人陳明聲(三二)については平署で極力犯人嚴探中の處十四日山口縣宇部警察署から逮捕した旨の通告があつた、陳は行衛不明のため平支部において中止不起訴となつてをり、平檢事局と若林司法主任は打合せをなし轉送された上取調をなす模樣である。

平から神戸まで

田卷、長瀬、綿引三君の自轉車旅行

第一信 石岡町照光寺にて

隨分お待たせした、僕等のこの企圖(最も僕等には半年掛かりの計劃ではあつたが)も愈々今日(十三日)その第一コースを平、石岡間に取ることになつた。

早朝五時三十分僕等は町の西端尼子橋上を基点としてそのスタートを切つた。わざわざ御見送り下すつた友人諸氏一丁目青年分團の人々、その他に僕等は深く感謝する。尙その準備に際し種々便宜を與へて下すつた平町長他吏員の方々に對してもより一層感謝せねばならぬ。

十日以來の低氣壓も一瞬の雷雨にその影を消し、綴、湯本、泉を經て神殿坂に差し掛つた頃はすでに一点の雲もない夏模樣で兩側の草林は多分の熱氣を胎み、汗を誘ふ蟬聲が耳上に迫るばかりになつた「僕等の壯圖を祝福して」と一行中の綿引君が此の快晴に口を付けた。

一寸此れは記事とはなんの關係も無いことではあるが、一行は常にリーダア田卷、パイロット綿引、レポーター長瀬の分署的に組織されてゐることである。「小さな感情を殺ろして、ファッチスの獨裁主義」を此れが僕等の鐵規である。それは百パーセント能率を上げるに亦統括的に必要であるから。

植田以來は道路は滿点、それに過分の海氣を含んだ風が僕等を迎へた。あの雜な惡路に喧騷された交通、陰濕な無風帶をかへりみる時、此處で僕等自身は放たれた洋上の鳥群を想ふことが出來る。

平潟八幡神社を八時半參拜社務所にて最初のスタンプを得た。午前十時半松原町經過海岸松林を縫ふて助川町を着正午晝食を攝る。

道路は依然として快滑、箱根輕井澤のドライヴを想はしむるに充分であつたが、傾斜起伏多く多少の困難を感ぜしめられた。麥を燒く海濱、穀を乾す農家、市に賑ふ街々。東上するに連れ交通は、バス少なく、舊來の荷馬車なく、運送するトラックがほとんどその大部分を占めてゐた。此れは唯に産業の資本化、資本の單一化ばかりでなく、機械文明の地方的進出の必然であらうと思ふ。此處に滑稽さは途中進路を誤つて一行は車を太田街道に驅つたことである。「あれ……眼の前に水戸市が見えるぞ」と誰かが言ふ。あにはからん、水戸市にあらずして、それは太田町であつた。低く高く、山、丘、傾坂に点在する街それは太田町だ。

水戸着三時半、いはらき新聞社訪問、市役所にてサインを受け、某所で茶を喫し、市内を視察した。午後五時常磐神社を參拜した。其處では僕等は親切な社掌の訓辭を受け、守札を頂いた。

日沒が迫つたため、僕等はハイスピードで石岡町に向つた。夕刻の冷風はよく惰れ切つた僕を緊張せしめ、車か人か、人か車か、夜七時僕等は石岡町の土を踏むことが出來た。街路の廣く整然とした石岡町、其處では土地の青年の歡待を受け、親切な紹介を得て、町の有名な佛閣、照光寺にたのしい夢をむすぶことが出來た。

鮫川の船上競射會

石城郡鮫川誇揚會では十三日午前十時から船上で弓道競射會を開いたが入賞者左の如し

一等勿來町北郷和香、二等高萩安藤吉之助、三等長瀬留八　四等湯本瀬谷豊吉、五等平中村梅三郎。

六月中の犯罪件數

平署の六月中における取扱事件數は發生百四十、檢擧三百九十七件、被害高二千九百五十五圓である、これを前年同月に比較すると發生二十七件增、檢擧は實に二百六十九件增で三倍に當つて居る、これは千葉縣生れ明石渡助二九外二名は佐倉宗吾神社修繕を種に約二百四十件の詐欺を働いたのを檢擧した關係からである、檢擧の主なるものを事件別にすると左の如し

▲失火三▲賭博十五▲職權濫用一▲傷害五▲過失傷害一▲過失致死一▲窃盜六十六▲强姦未遂告訴一▲詐欺二百七十七件▲横領十六件

讀者……（投書歡迎）

一行十三字詰

論壇……

卅行以上五十行迄

青年訓練所

一訓練生

小學校を卒業して實社會に入つてからのわれ〳〵には遊戯時間、否運動の時間といふものは殆ど皆無なのであります、學校にゐた時分は一週に一度、大祭日には必ず休み友達連と遠足したり運動したり充分に自分の心を慰安し、又身體の發育を安らかならしめたのであります、一週間に二三度け體操の時間もあつた、春秋二期には修學旅行もあつた、それが活社會に入つてからはきつゝりと姿を斷つたのであります。

□活社會に埃まみれになつて働く吾々青年に喜ぶべき運動機關が生れたのであります　それは青年訓練所の設置であります、一般には青年訓練所は兵役準備機關の如く信じてゐる方もありますがそんな考へを持つ方はそれは誤つた考へ方であります、青年訓練所台にも示す如く「青年の心身を鍛練して國民たるの資質を向上せしむ」と云ふのが本來の目的なのであります。

□一般の一部の方々はよく青訓の目的を諒解せられて子弟を出席致させられてゐるのでありますが、まだ一部の方々はこの目的を解し得ず、兵役準備機關の如く信ぜられてゐるのであります、この方々には「青訓は兵役準備機關にあらず」と云ふことを深く信ぜられて向後青訓を御奬勵あらんことを希望いたします。

□國家も亦青訓奬勵の意味にて國庫補助金等も增額されてゐるのであります、青訓の任務は日增しに重大性を帶ふる狀態となつて來たのであります父兄、雇主の皆樣はよく子弟の健康上又前記の事柄を考慮されまして一人でも多く青年訓練所へ入所致させられるやう切にお願ひいたす次第であります。

丸ほんで　半額戻し賣出し

平町三丁目丸ほん家具店では去る十日から二十日まで十一日間家具の半額割戻し大賣出しを開始してゐるが、この期間中に品物を買へば十圓の現金で十五圓の品物を買ふ事が出來るので非常な評判となり人氣を呼んでゐる。

本家 家具店の 半額割戻し賣出し

七月十日より二十日まで十一日間

半額割戻とは例へば十圓の買物に對し五圓の割戻し券を贈呈しその券で他の品を交換出來る事です。

絶對二度とない　破天荒の大廉賣

營業所　平三丁目　電話三五九番
製作所　平新田前　電話七二三番

最新式高級セダン型二台購入

自動車通のお客樣は斷然この車をお撰び致します

高級車でも破格の料金です

セヒ一度御試乘を!!

マツザキタクシー　電話番號は……獅子吼シシク四四九

生命保險界の王

世界的大會社

加奈陀サン生命保險會社

本社　英領加奈陀モントリラノル市
平代理店　加藤丈夫
湯本代理店　長岡義守
契約高　五十億
資産　十一億

◎尤も特色あり、尤も有利なる保險契約

貸切專用のスマートな自動車

貸切專用のスマートな自動車が參りました親切…迅速…安全をモットーこし低廉な料金で奉仕致します。

是非…御試乘御用命願上げます。

野崎自動車商會　平町田町　電話六五九番

耳鼻咽喉科專門

平町仲田町七一

入院應需

合津醫院　電話五五九番

貸切自動車は

乘心持のよい

磐城タクシーへ　電話四五四番（平驛前）

ラヂウム温灸器

胃腸病の必治法

二貫や三貫らく〳〵肥る世界的健康法

特約販賣部　治療

福島縣平町五丁目八　志賀齒科醫院

福島縣平町白銀町九　產婆　關口悅子

「温灸治療」二百三十頁の美本無代進呈

第二十一回營業報告

自昭和四年十二月一日
至昭和五年五月卅一日

貸借對照表

資產之部

未拂込株金	一三、五〇〇、〇〇〇
貸付金	二四、九四〇、八〇〇
假拂金	七〇一、六八〇
什器	一、〇八九、三〇〇
共同購入品費	一七、三〇三、九一〇
災害積立金	六七〇、七八〇
振替口座預金	四〇、〇六〇
建物	五九、一三〇
現金	二、九五三、八九〇
合計	一六〇、七九九、五六〇

負債之部

資本金	一五〇、〇〇〇、〇〇〇
假受金	二四、四八〇
借入金	三、一一六、〇六〇
別途積立金	二、一〇〇、〇〇〇
法定積立金	三、三五〇、〇〇〇
前期繰越金	二八七、二九〇
當期純利益金	三五〇、二七〇
當期未拂配利益金	一、四七一、四六〇
合計	一六〇、七九九、五六〇

利益金處分

一金四千九百九拾六圓五拾錢也　當期總利益金

一金參千五百貳拾五圓〇四錢也　當期缺損金

差引金壹千四百七拾壹圓四拾六錢也　純利益金

一金貳百八拾七圓貳拾九錢也　前期繰越金

二口計金壹千七百五拾八圓七拾五錢也

內金六百七拾圓七拾八錢也　災害費償却

內金參百五拾九圓拾參錢也　建物償却

再差引

金七百貳拾八圓八拾四錢也

之ヲ處分スルコト左ノ如シ

一金壹百五拾圓也　法定積立金

一金壹百五拾圓也　別途積立金

一金四百貳拾八圓八拾四錢也　後期繰越金

右之通リ相違無之候也

昭和五年六月三十日

小名濱水產株式會社